

事務事業マネジメントシート(平成31年度実績と令和 2年度計画)

令和 2年 4月 24日 更新

事務事業名		有害鳥獣駆除事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	6	産業の健康	所属部	産業振興部	課長名	塚本 健洋
	施策	26	農業の振興	所属課	農政課	担当者名	谷口 大介
	施策の柱	69	生産基盤の確保と経営力の強化	所属班	農政班	(内線)	5223
予算科目	会計一般	款 6	項 2	目 1	事業連番 10261	根拠法令	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 31年度で終了 <input type="checkbox"/> 31年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	農作物に被害を及ぼすカラス等の駆除を、合志地区、西合志地区の駆除隊に委託をしている。近年は環境の変化により繁殖能力が高い群れがいるものと思われ、駆除後も被害報告が出てきている。また、イノシシや鹿についても本市で確認されるようになってきた。
【業務の流れ】	駆除依頼受付後、該当地域の駆除隊へ連絡、駆除報告委託料支払い事務
【主な予算費目】	職員手当等、役務費、委託料
【意見や要望】	被害の増加に伴い、駆除要望は高まっている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 31年度実績(31年度に行った主な活動) (DO)	有害鳥獣駆除事業委託(カラス・イノシシ)を実施した。 【基準に達しなかった理由】 苦情件数等により駆除隊へ随時委託しているため。	2年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 有害鳥獣駆除委託契約事務 駆除依頼受付後、該当地域の駆除隊へ連絡、駆除報告、委託料支払い事務
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 日数 → イ: 有害鳥獣駆除従事者延日数	予算の主な増減の理由 時間外単価及び切手代単価変更のため
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 農家	(単位) 戸 → イ: 農家数	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 有害鳥獣から受ける農作物被害を減少し、生産量を増やす。	(単位) % → イ: 被害額の対前年比 現年度額/前年度額	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
*③成果指標設定の理由と 2年度目標値設定の根拠 有害鳥獣の減少により農作物の生産量増加につながるため、成果指標を「被害額の対前年比 現年度額/前年度額」と設定した。目標値は前年度より被害を減らすために80%とした。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	29年度 実績(決算)	30年度 実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	31年度 実績(決算)	2年度 目標(当初予算)	3年度 予定	4年度 見込	5年度 見込	
① 活動指標	ア	日数	214	163	130	92	130	130	130	130	
	イ										
	ア	戸	670	670	670	670	670	670	670	670	
② 対象指標	イ										
	ア	%	70	6	80	708	80	80	80	80	
③ 成果指標	イ										
	ア										
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円	150	190	191	204	204			
		地方債	千円								
		その他	千円	7	14	10	11	10	10	10	
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計	一般財源	千円	480	355	600	187	585	791	791	791
		(A) 事業費計	千円	637	559	801	402	799	801	801	801
		(A)のうち指定経費	千円	27	28	46	15	44	29	29	29
	(A)のうち時間外、特勤	千円	27	28	46	15	44	29	29	29	29
		人件費	人	7	5	7	3	7	7	7	7
(B) 人件費計	延べ業務時間	時間	660	610	430	590	430	430	430	430	
	(B) 人件費計	千円	2,610	2,404	1,713	2,338	1,713	1,713	1,713	1,713	
トータルコスト(A)+(B)		千円	3,247	2,963	2,514	2,740	2,512	2,514	2,514	2,514	

事務事業名	有害鳥獣駆除事業	所属部	産業振興部	所属課	農政課
-------	----------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は31年度の事後評価、ただし複数年度事業は31年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①31年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 環境の変化に伴い年中カラスの駆除について依頼が増えている。併せて、農作物の被害報告もあり対応に苦慮している。
	②2年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 カラスの駆除については、鉄砲による駆除で効果があるが、鉄砲を使用できるエリアが限られているため駆除方法を検討する必要がある。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 鳥獣駆除については全国的に対応に苦慮しているため、国、県、関係機関と連携し対応を行っていく。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業がない
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 駆除委託に対しての費用のみで対応しているが、今後は駆除対応が増加する見込みがあるため、予算増となる可能性が高い。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最低限の人員で対応しているため削減はできない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 広域的な問題であり、市が事業主体としての現状対応も止むを得ない。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 全市民に影響がある鳥獣駆除業務であるため行政で対応する必要がある。

3 評価結果の総括 (CHECK)

有害鳥獣による被害報告を数年スパンで見ると増加傾向にあり、それに伴い駆除隊への捕獲依頼も増加傾向にある。また、いのしし、カラスだけでなく、サル出現の報告もあった。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						